# 碧水だより

平成１９年１０月１日発行　第７号
阿蘇市立碧水小学校　文責　麻生廣文

学ぶ心　鍛う心　磨く心

清らかな碧水の心を育てるために

## 協・楽・動 ～キラッと輝け碧水っ子！心に残る運動会～

### ・・・・・9／9（日）碧水小学校秋季大運動会！　感動・感謝・感激の秋の一日・・・・

九月九日（日）晴天のもと、碧水小学校秋季大運動会が盛会裡に行われました。

本年度は、実質八日間の練習。この間、児童会の運営委員さんのリーダーシップのもとに、「協・楽・動～キラッと輝け　碧水っ子！心に残る運動会～」というスローガンを掲げ、手作りの運動会を成功させようと取り組んできました。

今年度の優勝は赤団でした。団長の西○○○さんを中心によくまとまっていました。高○○○○団長の白団もよくがんばりましたが、わずかに及びませんでした。その団長を支えたリーダーの人たちも立派でした。応援合戦に代表されますが、互いに相手の健闘をたたえ合う姿が印象的でした。応援合戦は、シンプルでダイナミック。ちょっぴりユーモアもありました。

運動会全体で感じたことは、一人一人の子どもたちがすばらしい力を発揮したことです。自分を信じて、団を信じて、正々堂々戦いました。めりはりがあり、最後まであきらめませんでした。

堂々と入場する白団と赤団の選手

白団リーダー

赤団リーダー

---

### 運動会特集

さて、碧水小学校の種目の一つの特色は、学年を超えた団体競技や団体演技があることです。

１．２年生「親子玉入れ」

低学年の定番の「親子玉入れ」も楽しさが満載でした。「へきすい西遊記」はかわいさの中にはらどきどきしました。中学年の大綱引きも統率された動きの中に、大人の綱引きに負けない迫力がありました。あめくい競争では、誰だかわからないくらい顔を真っ白にして走る子どももいました。高学年のロケット飛ばしやヒーローズアゲインの綱取り競争も団体競技として見応えがありました。

今年度初めて取り組んだ新星オールスターリレーは、全員リレーで、途中ではどちらが勝っているかわかりませんでしたので、最後まで白熱した試合展開になりました。最終的にはバトンタッチの上手なチームが勝ったようです。

しかし、なんと言っても圧巻だったのは、午前中では一～三年生の「へきすいソーラン」でした。一年生のかわいらしさ。二年生がんばり。三年生の確かな踊りが表現されていました。統率のとれた、すばらしい演技でした。

また、午後からでは、継承の「虎舞・役犬原太鼓」が見る人に感動を呼び起こしました。本校運動会の最後を飾る名物の伝統種目です。四～六年生、すばらしい演技でした。本年度から「役犬原太鼓」を組み合わせ、新しい演技で再出発しました。継承と創造、静と動、大と小、全体のバランスがしっかりとれていました。グラウンドいっぱいに躍動する子どもたちの姿が光り輝いていました。

---

## 感動と元気とパワー！を与えた　碧水っ子

開会式の校長あいさつの中で、「協・楽・動」にちなんで三つのことを話しました。それは、力を合わせて助け合うこと。精一杯楽しむために最後まで全力を尽くすこと。静と動、メリハリをつけること。この三つでした。

閉会式では、一人一人が自分の持ち場をがんばってみんなで協力し、全力で楽しみ、自分たちで運動会を盛り上げることができたことを伝えました。その結果児童会が掲げたスローガンが達成できたこと。このことをほめた次第でした。そのうえ、すばらしかったことは、閉会式の態度でした。最後まで整然と話を聞き、片付けまで力を抜きませんでした。子どもたちが自分にも周りの人にも感動と元気とパワーを与えてくれた一日でした。

保護者の皆様には、夏休み明けの清掃作業から前日の準備、当日の運営等にご協力いただきました。また、当日、早朝から最後まで惜しみない応援をいただいた来賓・地域、保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、佐藤義興市長様が「火の山音頭」に飛び入り参加され、大会に華を添えていただきました。

皆様、本当にありがとうございました。

一～三年「へきすいソーラン」

四～六年「伝承」
虎舞・役犬原太鼓

飛び入りの佐藤市長

感動　感謝　感激

---

## 激走・爆走！子どもにゃ負けられん！

### 盛り上がった部落対抗綱引き・百足競争・リレー

校区の皆様の競技では、毎年の事だとお聞きしていますが、大変白熱した戦いが繰り広げられました。いくつかの学校を経験して、部落ごとのはちまきの色を揃えた学校はありましたが、シャツを揃えている学校は初めてでした。

部落対抗をとおして、地域意識や仲間意識を育てていることに対して感動いたしました。お父さん・お母さんはじめ、校区の皆様のこのような姿があればこそ、本校児童に「碧水に生まれてよかった」「碧水小学校でよかった」「大人になっても碧水に住みたい」という気持ちを育てるのだと思いました。

部落対抗綱引き

部落対抗百足競争

部落対抗リレー

# 碧空教室のできるまで

この碧空（あおぞら）教室はどのようにできたのでしょう。その足跡を追ってみました。

子どもたちが緑陰で学んだり、給食を食べたりする空間。地域の人や子どもたちが憩う空間。そして、地域・保護者・子どもたちの触れ合いの空間。

## ＰＴＡ　の熱き思いのこもった　学び・癒やし・触れ合い　の空間　完成！

### 第一章　できあがりの様子（九月）

校庭の碧空教室で給食を食べる六年生

右の写真は、六年生がおいしそうに給食を食べている様子です。左の写真は、放課後、学童クラブの子どもが遊んだ様子です。

碧水小学校の子どもたちが魅力的な校庭の調整を行ってきました。校庭の整備、配置のなどの材料の調達、そして、碧水小学校の子どもたちが一生懸命に取り組んだ校庭の整備の様子を掲示板に名前環境まとめて、自然に解答と問題書いてあります。

### 第二章　搬出の様子（六月）

六月三日（日）。ＰＴＡ有志八名は、雨の中校庭設置の山を分の切り株の搬出。切り株が待ち受けていました。抱きかかえて運びますが、あまりの重さに絶句！「こりゃ、大変。二つ三つ運んだら足腰がたんごつなるばい。」心の中の叫び声。悲鳴に近い。ここで活躍したのが、木材運搬専用車でした。

切り株の運び出し

切り株の皮むき

切り株を次に皮むき。大きさを集め、作業の中のなとの中で空腹と疲労で、次第に無口に・・・パンを昼食・・・摂り、飲み物の軽い昼食と雨の中で切り株を積み込みます。

そんな時、「いすがあるなら、テーブルも。」という声が上がる。「そりゃあ、いい。」とみんなが賛成する。何という執念。子どものための場面はそんなとは状況ではないのにと驚き。

### 第三章　テーブル制作（九月）

九月一日（日）学校清掃日。その午後、池田さんと田代さんの手助けと有志によりテーブル作成が始まります。

テーブル用材木の積み込み

テーブル用の材木もクレーンで積み込み、学校へ。その後、製材所に運びます。切り株は乾燥させ、やがて防腐剤が塗られます。

かんなをかける田代さん（一番右）

段取りを進める池田さん（手前）

## 心に残る巧みの技

巧みの技

テーブルを作り始めると何事。プロの技に圧倒されます。五十センチの板に、ミリ単位以下の仕事。一番の驚きは、幅四〜五の穴を開ける作業でボルト用二つの板に別々に穴を開け、後で組み合わせると一分の狂いもない。これには、全員、唖然！

### 第四章　テーブル完成

このようにして、テーブルが完成し、第一章の写真のように子どもたちに喜ばれています。運動会では来賓席として活躍しました。これまで、ご協力いただいたＰＴＡ有志の皆様には心から感謝申し上げます。

よかつのできたばい。

碧空教室全景

今後、使用済みの電線ケーブル用のドラムをいくつか調達し、さらに碧空教室の充実を図りたいとの構想があります。お心当たりのある方は学校までご連絡下さい。

## 学校紹介・・あれこれ

### 一輪車乗り補助具

最近購入した一輪車の練習用の補助具です。青い鉄製のわくに四つの車輪がついていて、安心して練習できます。

練習中の人にも大人にも乗れる三台設置し、好評です。

これまであまり見られなかった男の子たちの練習風景も見られるようになりました。

### 樹木名札とクイズ

校庭にたくさんの樹木があります。この樹木に名前札をつけました。子どもたちが木について本やインターネットで調べたことをクイズにしています。表に問題、裏に解答と問題作成者の名前が書いてあります。

### 新しい遊具・円形雲梯

古い雲梯を撤去し、新しい円形雲梯が設置されました。

一輪車乗り用手すり

これは鉄棒ではありません。一輪車に乗るための手すりです。今年度早々に荒木副会長さんに寄贈・設置していただきました。

## いつも子どもたちを見守っていただき、ありがとうございます。

村上敬郎さん

蔵原や竹原、西町の子どもたちが通学する57号線沿いのファミリーマート近くの交差点で、ボランティアで交通指導をしておられる村上さんです。

ここ二年間ほぼ、毎日のように主に低学年の子どもたちが下校する時間帯に指導してくださいます。

このことは、坊中駐在所地域安全推進協議会の席上で話題になりましたので、早速、突撃取材をいたしました。

村上さんから、「最近、碧水小学校の子どもたちが元気よくあいさつをしてくれるようになりました。」とのおほめの言葉をいただきました。